

一般質問

町民の声を代表して 7人が質問

議会には、議員が、町長や教育長に対し、町の仕事の状況や、将来の方針などを質問する一般質問があります。今回の議会では、7人の議員が、皆さんの声を代表して質問をしました。

一般質問



岡本 ひとし

「地域共生社会」の実現に向けた取り組み

- 一、「地域共生社会」の実現に向けた取り組み
- 二、住民参加で活力あふれる「まちづくり」

問 地域担当職員の実状について問う。

答 地域共生社会とは、どのようなイメージを描いているのか問う。

問 住民が主体となり、行政がサポートすることで地域活力が活かされると思われる。行政としてどのようにかわるのか問う。

答 地域と行政のパイプ役として、課題解決の役割を果たしている。

答 地域の課題を丸ごと縦割りではなく、横の連携も含めて受けとめ、行政に頼るということではなく、まず地域の中で一人ひとりが何ができるのかという意識の改革が重要であると考えます。

問 行政・社協・地域福祉の関係者・団体等が連携し、人間関係のつながりをつくる意識の醸成が重要である。

問 地域への行政としてのかかわり方について問う。

答 活力あふれる地域づくりのためには、これまでの情報伝達から、地域の側から発信する双方向の体系づくりも重要になるものと考えます。地域と協働する施策については、より一層の事前協議やコミュニケーションを図り進める。

問 地域福祉活動の重要な柱として、総合生活相談など相談者に寄り添った事業の推進が重要だと思われるが、認識を問う。

問 能勢町は元気がない、閉塞感が漂うという意見があるが、次世代に向けて、元気な能勢をどう取り戻していくのか問う。

答 若い人たちが少ないのが一番大きな原因だと思ふ。行政を挙げて、地域を挙げて大きな課題に取り組む。

答 総合相談は重要な地域福祉活動であり、相談件数・内容ともに増加・複雑化しており、専門職のみならず職員総がかりで対応している。

住民参加で活力あふれる「まちづくり」